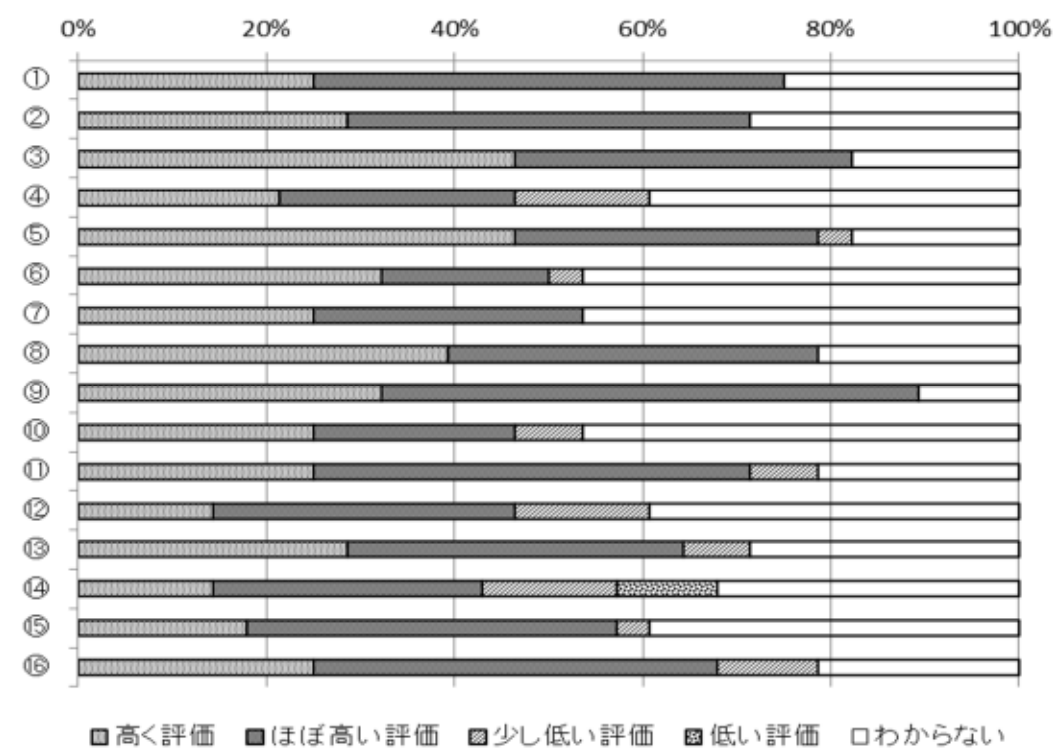


## 平成 25 年度 SSH に関する教職員評価(校内調査)

(評価項目)

- ① 学校と高校の理数科目についての授業研究
- ② 課題研究の実施(総合科学科2年生1,2学期)
- ③ SSH 生徒研究発表会・交流会等への参加(課題研究とクラブ活動の発表)
- ④ 科学英語コミュニケーション研修
- ⑤ デンマークフレデリクスハウン高校との交流
- ⑥ Asgard3 への参加
- ⑦ レゴ、フィジカルコンピューティング等に関する実験・研究
- ⑧ 調査、研修(環境調査、紀南研修、関東研修、全国 SSH コンソーシアム参加等)
- ⑨ コンクール参加 物理チャレンジ、生物オリンピック予選、科学の甲子園出場等
- ⑩ つなぎクラブ(中学3年生の高校の理系クラブ活動への参加)
- ⑪ 大学・研究施設等との連携
- ⑫ 先進校の視察
- ⑬ 運営指導委員会の開催
- ⑭ ホームページによる情報発信
- ⑮ 評価及び報告書の作成
- ⑯ 総合評価

(集計結果)

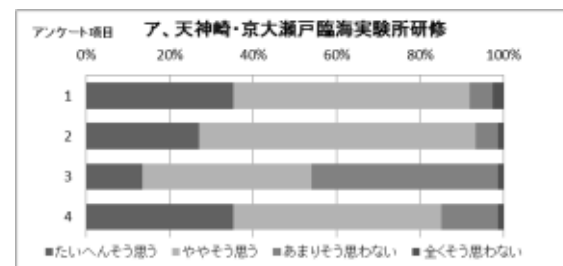


## 平成 25 年度 特別講義等 生徒アンケート集計結果

### ● 1 年生 5・6 組(総合科学科)

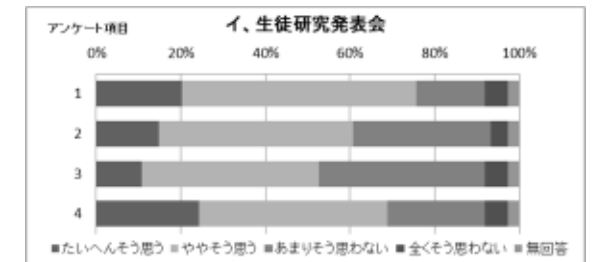
(アンケート項目)

- ア. 天神崎・京都大学臨海実験所研修について
1. 研修内容に興味を持った
  2. 研修内容が理解できた
  3. 関連した事項を自分でも調べてみたい
  4. 自分にとって有意義なものだった



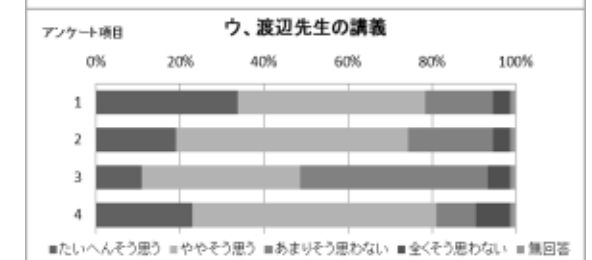
### イ. 和歌山県生徒科学研究発表会

1. 発表内容に興味を持った
2. 発表内容が理解できた
3. 関連した事項を自分でも調べてみたい
4. 自分にとって有意義なものだった



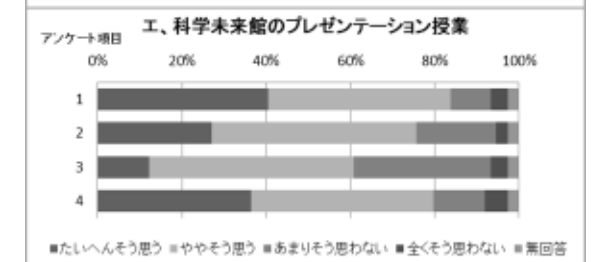
### ウ. 東北大学渡辺教授特別講義

1. 研修内容に興味を持った
2. 研修内容が理解できた
3. 関連した事項を自分でも調べてみたい
4. 自分にとって有意義なものだった



### エ. プレゼンテーション(生物多様性)授業

1. 研修内容に興味を持った
2. 研修内容が理解できた
3. 関連した事項を自分でも調べてみたい
4. 自分にとって有意義なものだった

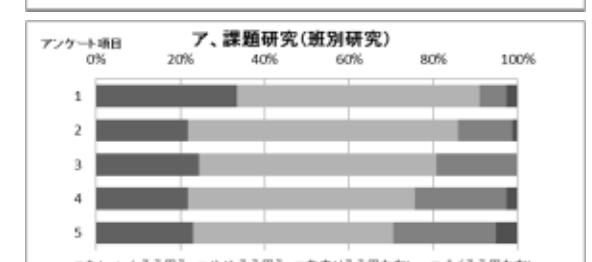


### ● 2 年生 5・6 組(総合科学科)

(アンケート項目)

#### ア. 課題研究(班別研究)について

1. 興味を持って取り組んだ
2. 物事を深く考えようとする姿勢が身についた
3. 研究を通して、知らないことを調べようとする姿勢が身についた
4. 調べたことや考えたことをまとめる力が身についた
5. 発表する力が身についた



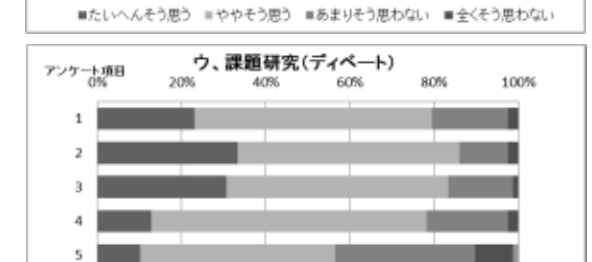
#### イ. 和歌山県生徒科学研究発表会について

1. 発表内容に興味を持った
2. 発表内容が理解できた
3. 関連した事項を自分でも調べてみたい
4. 自分にとって有意義なものだった



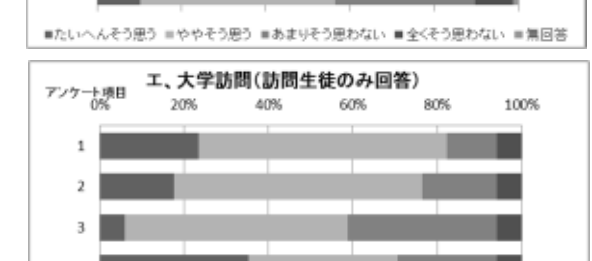
#### ウ. 課題研究(ディベート)について

1. 興味を持って取り組んだ
2. 物事を深く考えようとする姿勢が身についた
3. 知らないことを調べようとする姿勢が身についた
4. 調べたことや考えたことをまとめる力が身についた
5. 発表する力が身についた



#### エ. 大学訪問について

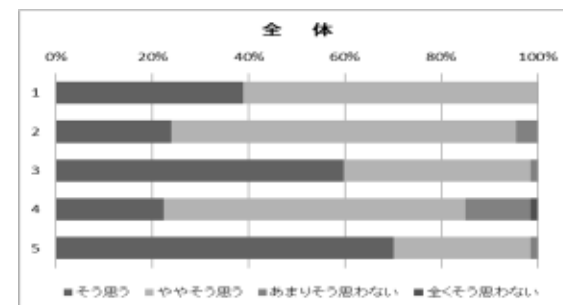
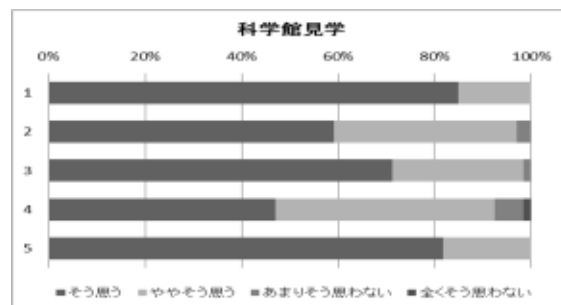
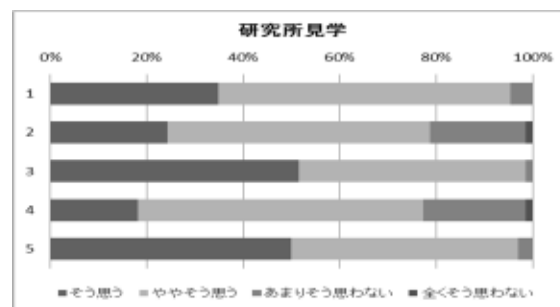
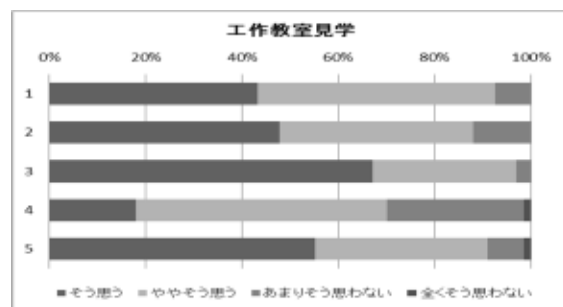
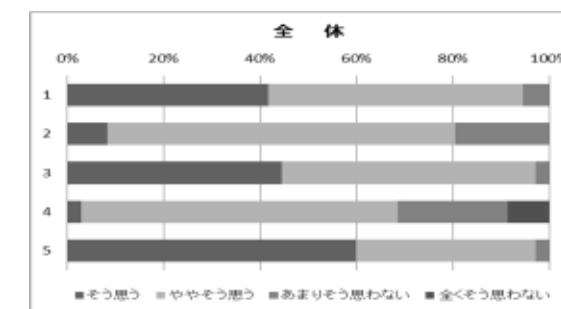
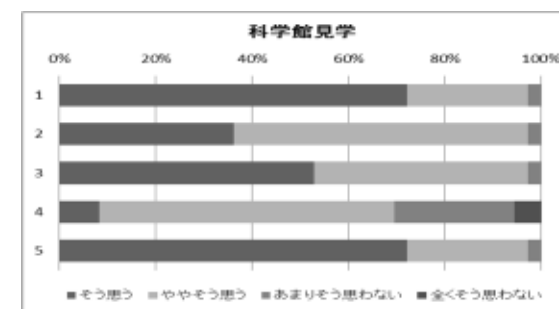
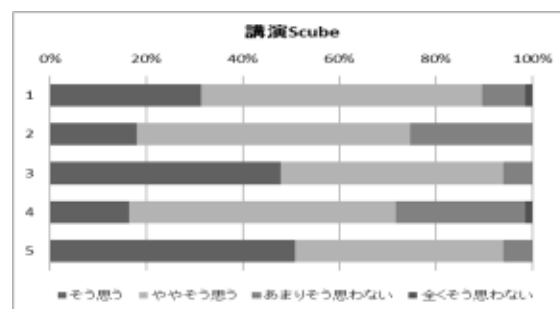
1. 研修内容に興味を持った
2. 研修内容が理解できた
3. 関連した事項を自分でも調べてみたい
4. 自分にとって有意義なものだった



● 関西光科学研究所特別講義（1年生総合科学科5・6組）

（アンケート項目）

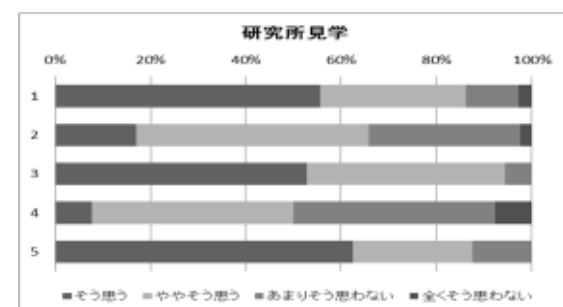
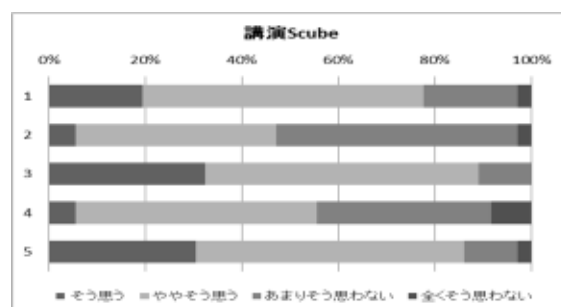
1. 講義や見学に興味、関心を持った。
2. 講義や見学の内容は理解できた。
3. 講義の受講や見学を真剣な態度で挑んだ。
4. 関連したことを自分でも調べてみたいと思った。
5. またこのような講義を受けたい。（または、来年度の生徒にも同様の企画をした方がいい）



● 関西光科学研究所特別講義（2年生普通科3組）

（アンケート項目）

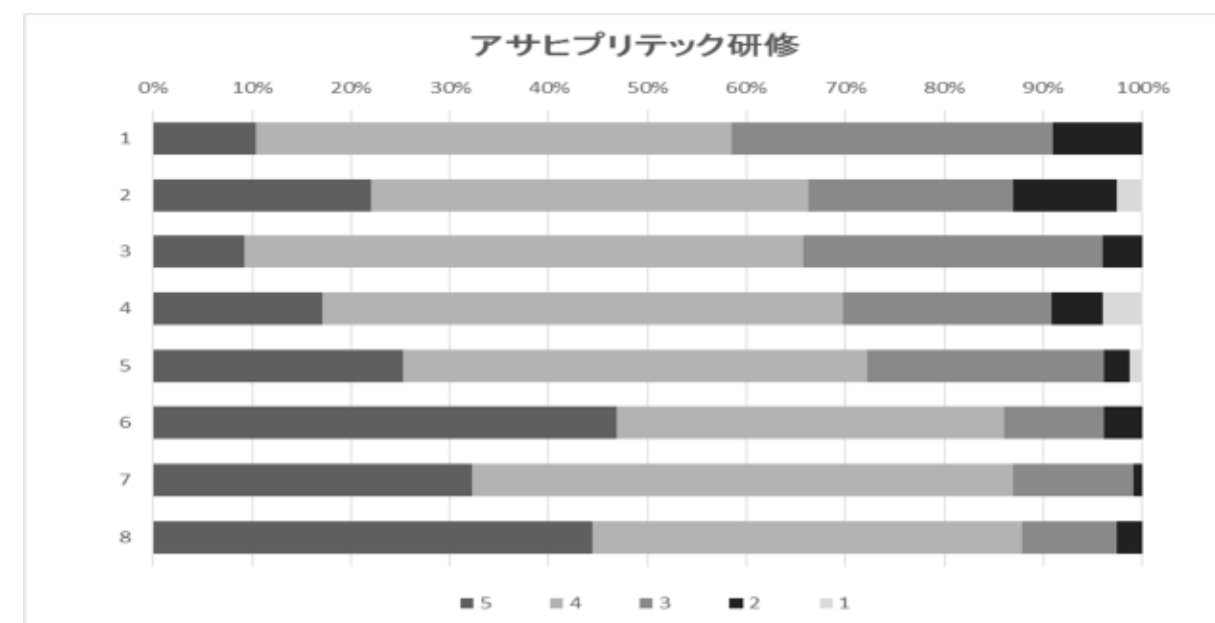
1. 講義や見学に興味、関心を持った。
2. 講義や見学の内容は理解できた。
3. 講義の受講や見学を真剣な態度で挑んだ。
4. 関連したことを自分でも調べてみたいと思った。
5. またこのような講義を受けたい。（または、来年度の生徒にも同様の企画をした方がいい）



● アサヒプリテック研修（2年生普通科4組, 総合科学科5.6組）

（アンケート項目）

1. 尼崎工場での説明を聞き、内容がよく理解できた。
2. 『貴金属などの再利用』は興味のわくものだった。
3. 神戸工場での説明を聞き、内容がよく理解できた。
4. 『廃棄物の処理』は興味のわくものだった。
5. JT生命誌研究館での説明を聞き、内容がよく理解できた。
6. 『生命誌』は興味のわくものであった。
7. 今回の校外研修は充実した内容であった。
8. 今まで知らなかった職業をよく知ることができ、視野が広がった。

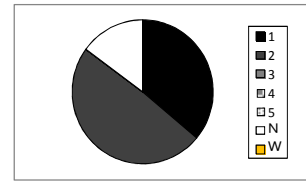


(平成 25 年度 SSH 事業意識調査より抜粋)

1. 教員意識調査より

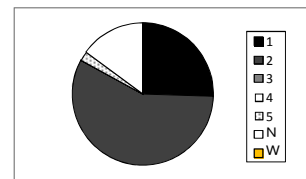
質問項目 6) SSHの取組に参加したことで、生徒の科学技術に対する興味・関心・意欲は増したと思いますか。

- 1：大変増した 2：やや増した 3：効果がなかった  
4：もともと高かった 5：わからない N：無回答 W：無効



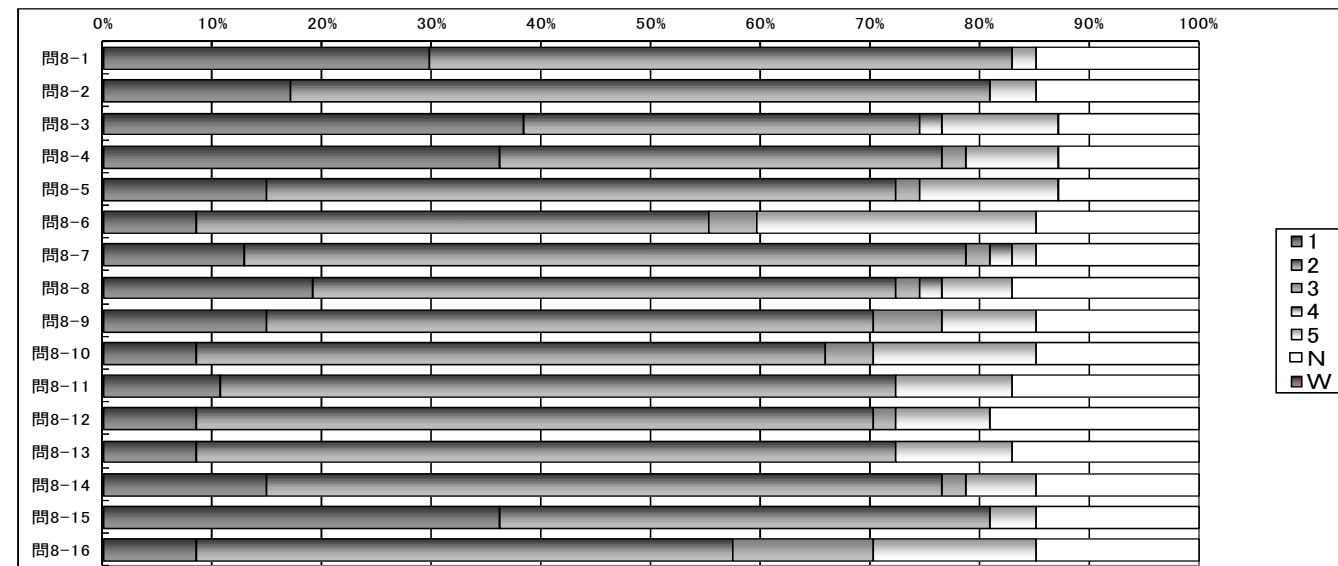
質問項目 7) SSHの取組に参加したことで、生徒の科学技術に関する学習に対する意欲は増したと思いますか。

- 1：大変増した 2：やや増した 3：効果がなかった  
4：もともと高かった 5：わからない N：無回答 W：無効



質問項目 8) SSHの取組に参加したことで、生徒の学習全般や科学技術、理科・数学に対する興味、姿勢、能力が向上したと感じますか。

- |                                    |                                |
|------------------------------------|--------------------------------|
| (8-1) 未知の事柄への興味 (好奇心)              | (8-2) 科学技術、理科・数学の理論・原理への興味     |
| (8-3) 理科実験への興味                     | (8-4) 観測や観察への興味                |
| (8-5) 学んだ事を応用することへの興味              | (8-6) 社会で科学技術を正しく用いる姿勢         |
| (7) 自分から取組む姿勢 (自主性、やる気、挑戦心)        | (8) 周囲と協力して取組む姿勢 (協調性、リーダーシップ) |
| (9) 粘り強く取組む姿勢                      | (10) 独自のものを創り出そうとする姿勢 (独創性)    |
| (11) 発見する力 (問題発見力、気づく力)            | (12) 問題を解決する力                  |
| (13) 真実を探って明らかにしたい気持ち (探究心)        | (14) 考える力 (洞察力、発想力、論理力)        |
| (15) 成果を発表し伝える力 (レポート作成、プレゼンテーション) |                                |
| (16) 国際性 (英語による表現力、国際感覚)           |                                |

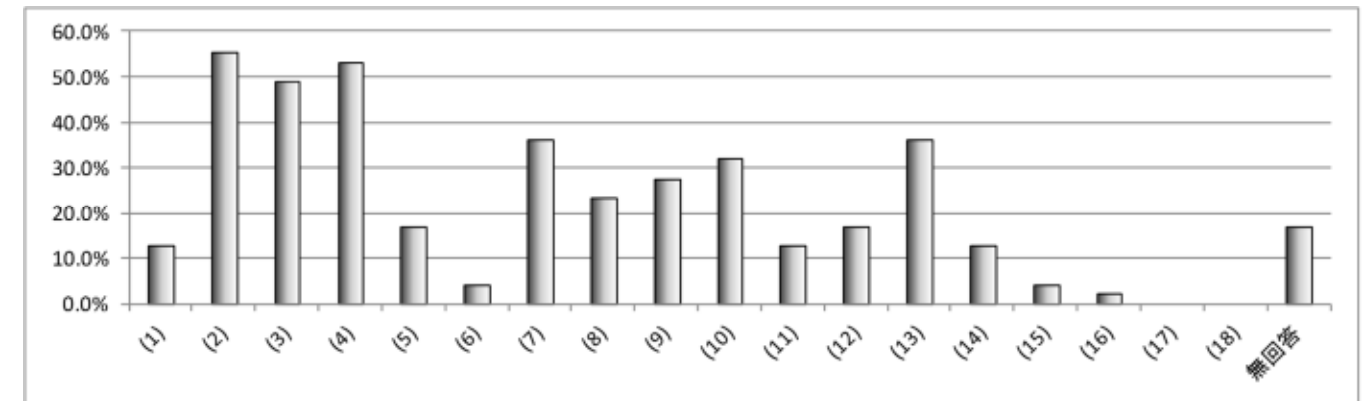


- 1：大変向上した 2：やや向上した 3：効果がなかった 4：もともと高かった 5：わからない  
N：無回答 W：無効

質問項目 9) 生徒に特に効果があったと思うSSHの取組はどれですか。(回答はいくつでも)

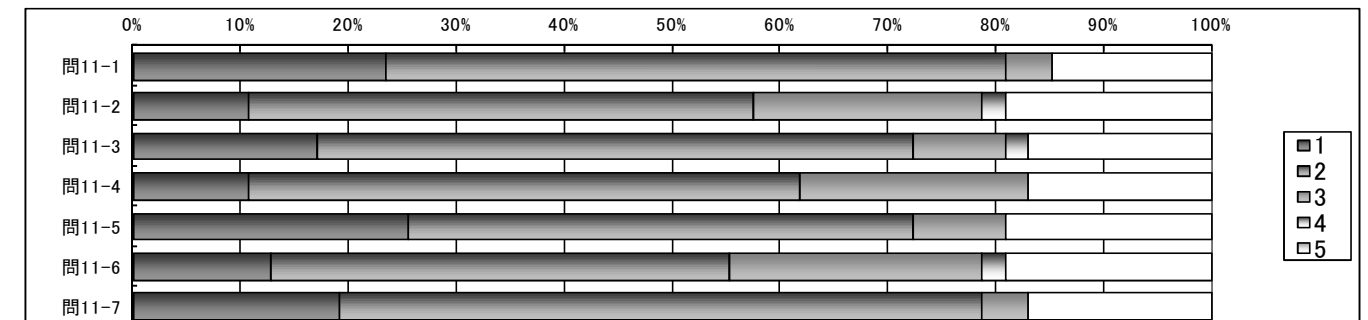
- (1) 科学技術、理科や数学に割り当てが多い時間割 (2) 科学者や技術者の特別講義・講演会  
(3) 大学や研究所、企業、科学館等の見学・体験学習

- (4) 個人や班で行う課題研究 (自校の教員や生徒のみとの間で行うもの)  
(5) 個人や班で行う課題研究 (大学等の研究機関と一緒に、あるいは指導を受けて行うもの)  
(6) 個人や班で行う課題研究 (他の高校の教員や生徒と一緒に、あるいは指導を受けて行うもの)  
(7) 理数系コンテストへの参加 (8) 観察・実験の実施  
(9) フィールドワーク (野外活動) の実施 (10) プレゼンテーションする力を高める学習  
(11) 英語で表現する力を高める学習 (12) 他の高校の生徒との発表交流会  
(13) 科学系クラブ活動への参加 (14) 海外の生徒との発表交流会  
(15) 海外の大学・研究機関等の訪問 (16) 海外の生徒との共同課題研究  
(17) 国際学会や国際シンポジウムでの発表 (18) 国際学会や国際シンポジウムの見学



質問項目 11) SSHの取組を行うことは、下記のそれぞれの項目において影響を与えますか。

- (1) 生徒の理系学部への進学意欲に良い影響を与える (2) 新しいカリキュラムや教育方法を開発する上で役立つ  
(3) 教員の指導力の向上に役立つ (4) 教員間の協力関係の構築や新しい取組の実施など学校運営の改善・強化に役立つ  
(5) 学校外の機関との連携関係を築き、連携による教育活動を進める上で有効だ  
(6) 地域の人々に学校の教育方針や取組を理解してもらう上で良い影響を与える  
(7) 将来の科学技術人材の育成に役立つ

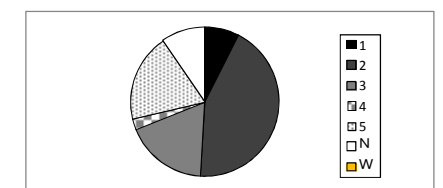


- 1：とてもそう思う 2：そう思う 3：どちらとも言えない 4：あまりそう思わない  
5：そう思わない 6：無回答 7：無効

2. 生徒意識調査

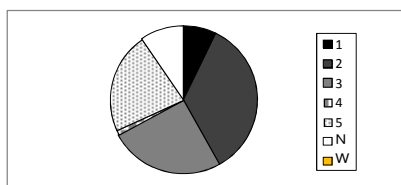
質問項目 2) SSHの取組に参加したことで、科学技術に対する興味・関心・意欲が増しましたか。(回答は1つだけ)

- 1：大変増した 2：やや増した 3：効果がなかった  
4：もともと高かった 5：わからない N：無回答 W：無効



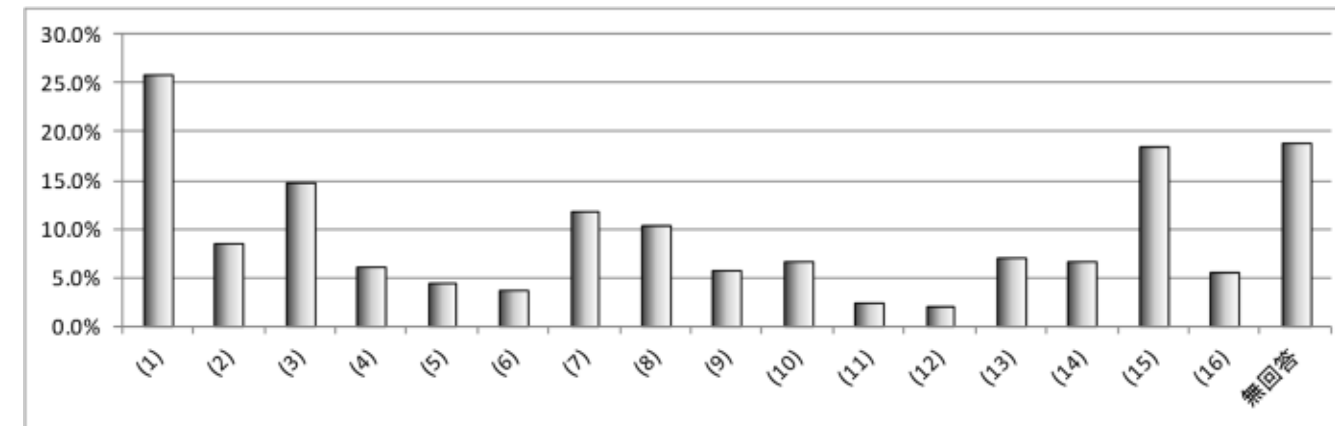
質問項目 3) SSHの取組に参加したことで、科学技術に関する学習に対する意欲が増しましたか。(回答は1つだけ)

- 1: 大変増した 2: やや増した 3: 効果がなかった  
4: もともと高かった 5: わからない N: 無回答 W: 無効



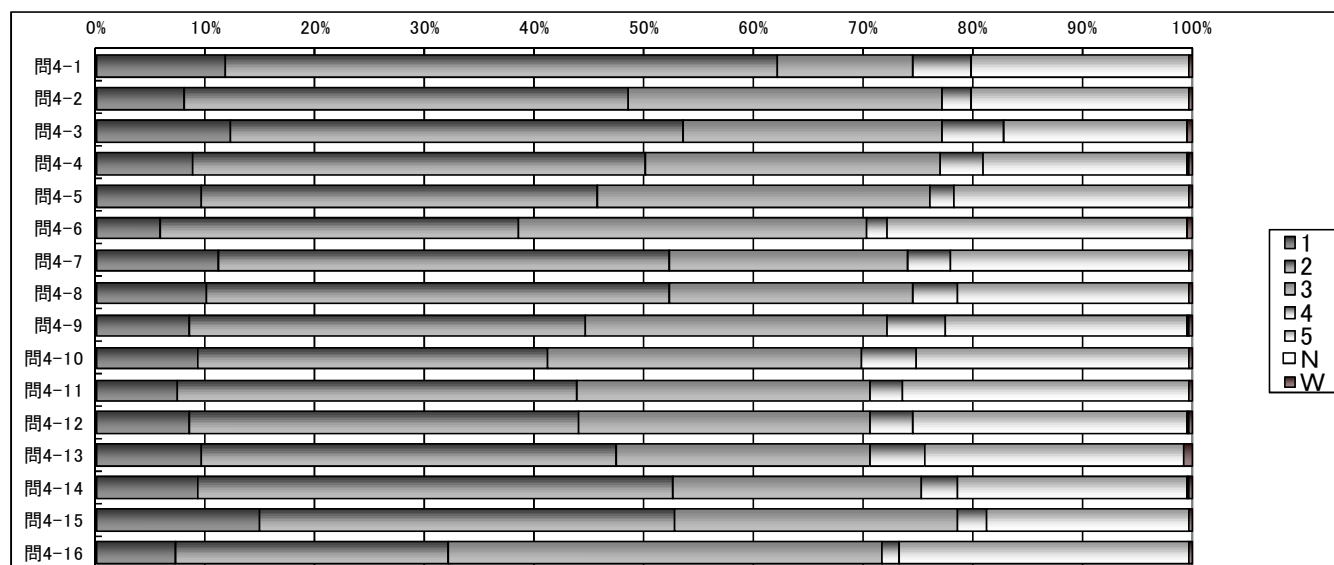
質問項目 4) SSHの取組に参加したことで、学習全般や科学技術、理科・数学に対する興味、姿勢、能力が向上しましたか。

- (1) 未知の事柄への興味 (好奇心) (2) 科学技術、理科・数学の理論・原理への興味  
(3) 理科実験への興味 (4) 観測や観察への興味  
(5) 学んだ事を応用することへの興味 (6) 社会で科学技術を正しく用いる姿勢  
(7) 自分から取組む姿勢 (自主性、やる気、挑戦心)  
(8) 周囲と協力して取組む姿勢 (協調性、リーダーシップ)  
(9) 粘り強く取組む姿勢 (10) 独自なものを作り出そうとする姿勢 (独創性)  
(11) 発見する力 (問題発見力、気づく力) (12) 問題を解決する力  
(13) 真実を探って明らかにしたい気持ち (探究心) (14) 考える力 (洞察力、発想力、論理力)  
(15) 成果を発表し伝える力 (レポート作成、プレゼンテーション)  
(16) 国際性 (英語による表現力、国際感覚)

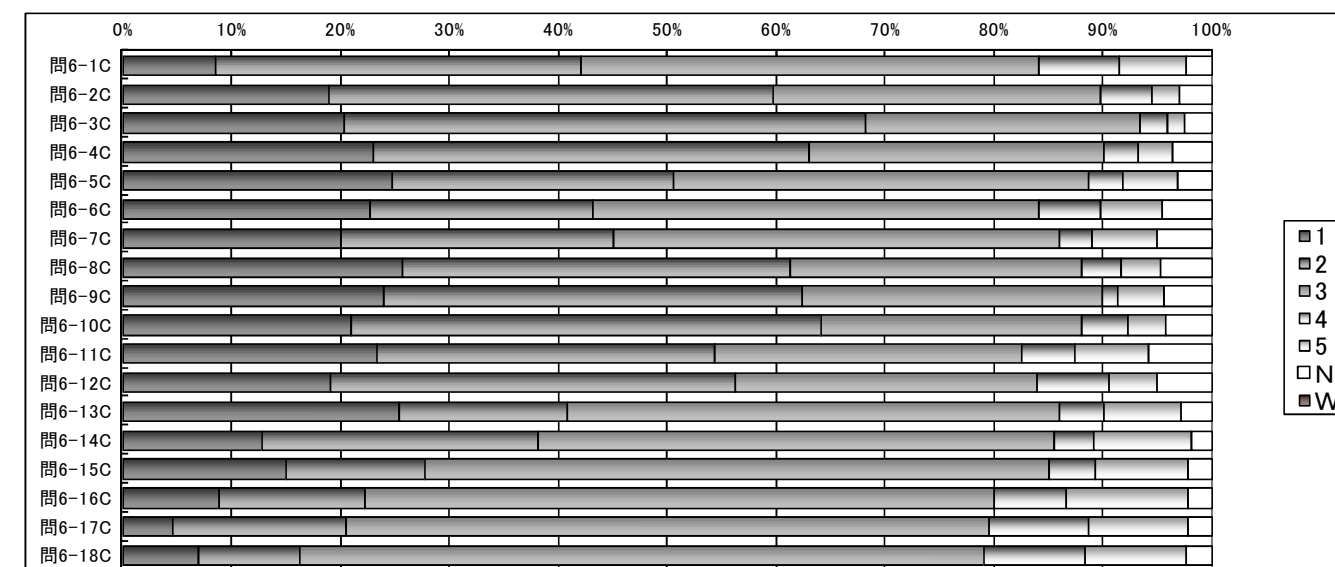


質問項目 6) 以下(1)～(18)までの取組について参加した取り組みについてお答えください。

- (1) 科学技術、理科・数学に割り当てが多い時間割 (2) 科学者や技術者の特別講義・講演会  
(3) 大学や研究所、企業、科学館等の見学・体験学習  
(4) 個人や班で行う課題研究 (自校の教員や生徒のみとの間で行うもの)  
(5) 個人や班で行う課題研究 (大学等の研究機関と一緒に、あるいは指導を受けて行うもの)  
(6) 個人や班で行う課題研究 (他の高校の教員や生徒と一緒に、あるいは指導を受けて行うもの)  
(7) 理数系コンテストへの参加 (8) 観察・実験の実施  
(9) フィールドワーク (野外活動) の実施 (10) プレゼンテーションする力を高める学習  
(11) 英語で表現する力を高める学習 (12) 他の高校の生徒との発表交流会  
(13) 科学系クラブ活動への参加 (14) 海外の生徒との発表交流会  
(15) 海外の大学・研究機関等の訪問 (16) 海外の生徒との共同課題研究  
(17) 国際学会や国際シンポジウムでの発表 (18) 国際学会や国際シンポジウムの見学



- 1: 大変向上した 2: やや向上した 3: 効果がなかった 4: もともと高かった  
5: わからない N: 無回答 W: 無効



1. たいへん良かった 2. 良かった 3. どちらとも言えない 4. あまり良くなかった  
5. 良くなかった N. 無回答 W. 無効

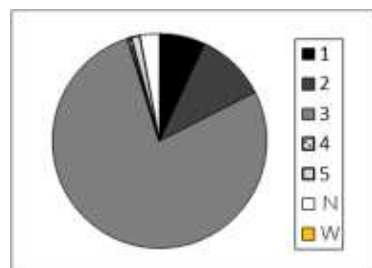
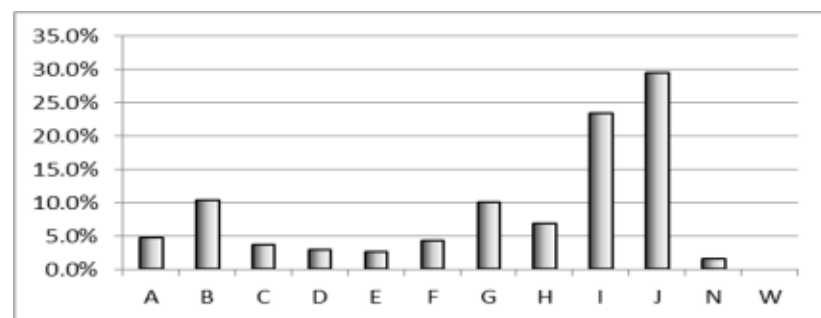
質問項目 5) 項目 4 の(1)～(16)のうちSSHの取組により最も向上したと思う興味、姿勢、能力は何ですか。(回答は3つまで)

質問項目 9) 将来、どのような職業に就きたいと考えていますか。

- A. 大学・公的研究機関の研究者 B. 企業の研究者・技術者 C. 技術系の公務員  
D. 中学校・高等学校の理数系の教員 E. 医師・歯科医師 F. 薬剤師  
G. 看護師 H. その他理系の職業 I. 文系の職業  
J. わからない N. 無回答 W. 無効

質問項目 10) S S H の取組への参加によって、問 9 の職業を希望する度合いは強くなったと思いますか。

1. 強くなった 2. やや強くなった 3. 変わらない 4. やや弱くなった 5. 弱くなった

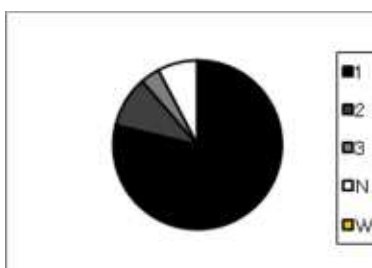
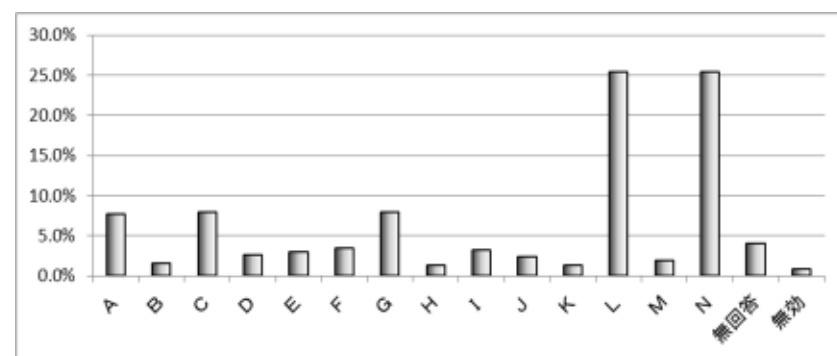


設問項目 11) S S H の取組に参加する前に大学で専攻したいと考えていた分野はどれですか。

- A. 理学系（数学以外） B. 数学系 C. 工学系（情報工学以外） D. 情報工学系  
 E. 医学・歯学系 F. 薬学系 G. 看護系 H. 農学系（獣医学含む）  
 I. 生活科学・家政学系 J. 教育学系（理数系） K. その他理系 L. 文系  
 M. その他 N. 決まっていなかった

質問項目 12) S S H の取組に参加したことによって、専攻志望は参加前と変わりましたか。

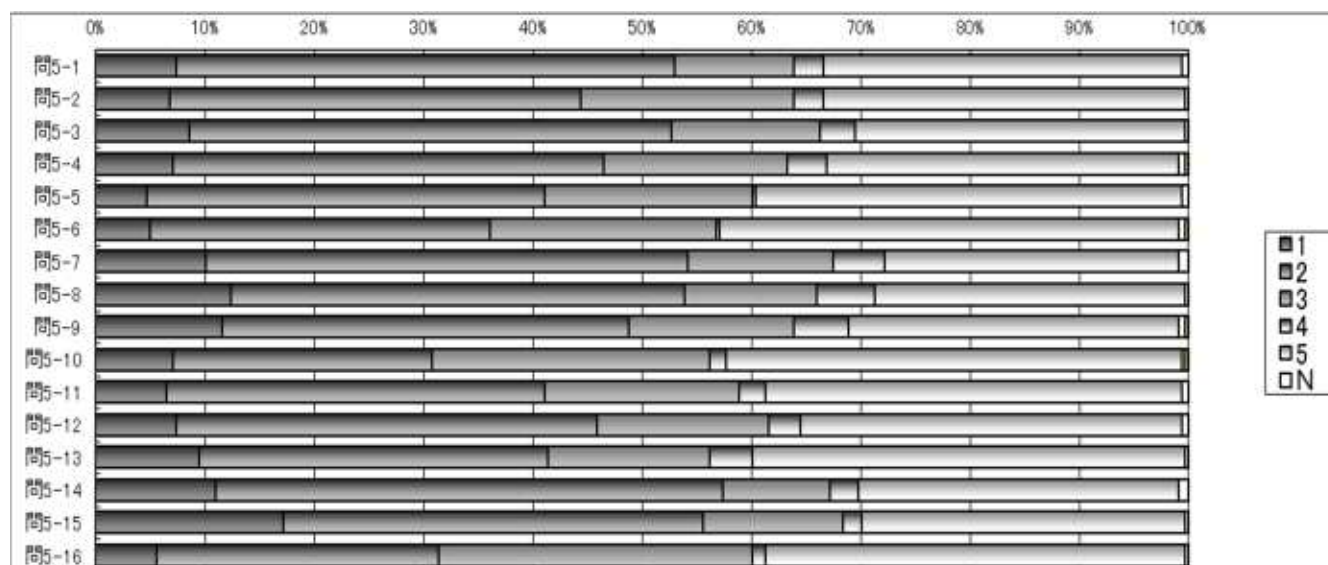
1. 参加前と変わっていない 2. S S H の取組への参加が理由ではないが、変わった  
 3. S S H の取組への参加によって、変わった N. 無回答



### 3. 保護者意識調査

質問項目 5) S S H の取組によってお子さんの学習全般や科学技術、理科・数学に対する興味、姿勢、能力が向上したと感じますか。

- (1) 未知の事柄への興味（好奇心） (2) 科学技術、理科・数学の理論・原理への興味  
 (3) 理科実験への興味 (4) 観測や観察への興味 (5) 学んだ事を応用することへの興味  
 (6) 社会で科学技術を正しく用いる姿勢 (7) 自分から取組む姿勢（自主性、やる気、挑戦心）



- (8) 周囲と協力して取組む姿勢（協調性、リーダーシップ） (9) 粘り強く取組む姿勢  
 (10) 独自のものを創り出そうとする姿勢（獨創性） (11) 発見する力（問題発見力、気づく力）  
 (12) 問題を解決する力 (13) 真実を探って明らかにしたい気持ち（探究心）  
 (14) 考える力（洞察力、発想力、論理力）  
 (15) 成果を発表し伝える力（レポート作成、プレゼンテーション）  
 (16) 国際性（英語による表現力、国際感覚）

1. 大変向上した 2. 向上した 3. 効果がなかった 4. もともと高かった 5. わからない

質問項目 6) お子さんに特に効果があったと感じている S S H の取組はどれですか。

- A. 科学技術、理科・数学に割り当てが多い時間割 B. 科学者や技術者の特別講義・講演会  
 C. 大学や研究所、企業、科学館等の見学・体験学習  
 D. 個人や班で行う課題研究（自校の教員や生徒のみとの間で行うもの）  
 E. 個人や班で行う課題研究（大学等の研究機関と一緒に、あるいは指導を受けて行うもの）  
 F. 個人や班で行う課題研究（他の高校の教員や生徒と一緒に、あるいは指導を受けて行うもの）  
 G. 理数系コンテストへの参加 H. 観察・実験の実施  
 I. フィールドワーク（野外活動）の実施 J. プレゼンテーションする力を高める学習  
 K. 英語で表現する力を高める学習 L. 他の高校の生徒との発表交流会  
 M. 科学系クラブ活動への参加 N. 海外の生徒との発表交流会  
 O. 海外の大学・研究機関等の訪問 P. 海外の生徒との共同課題研究  
 Q. 国際学会や国際シンポジウムでの発表 R. 国際学会や国際シンポジウムの見学

